

## 提案事業検討部会 会議概要録

## 【開催概要】

名 称：令和元年度 第1回 東区自治協議会 提案事業提案部会

日 時：令和元年9月19日（木）午後2時30分～3時15分

場 所：東区プラザ 講座室2

出席者：後藤委員、吉田委員、大江委員、佐藤（恵）委員、長谷川委員、月岡委員、  
田中委員、國兼委員、菊谷委員 〔欠席：安藤委員〕  
（事務局）地域課

## 【会議内容】

## 1 令和2年度自治協議会提案事業の予算について

令和2年度の自治協議会提案事業の予算額の検討にあたり、これまでの予算の編成方法や、区役所企画事業との相互流用について、事務局より説明がありました。

令和2年度予算額について、事務局よりいくつかの案が提示され、過去の自治協議会提案事業の執行状況等を参考に協議した結果、別紙のとおりとすることとしました。

## 令和2年度自治協議会提案事業の予算案について

## 1 自治協議会提案事業の予算

## ○これまでの編成方法

委員や部会から提案のあった各事業の概算額の積み上げにより決定。

令和元年度予算より、特色ある区づくり予算において、「区役所企画事業」と「自治協議会提案事業」の限度額を定めることが廃止され、特色ある区づくり予算全体の中で、相互流用が可能となった。

## ○令和2年度について

自治協議会提案事業の方向性を見直しにより、予算編成時点では、実施事業の詳細が決定していないため、これまでのように積み上げ方式で決めることができない。

## 2 令和2年度の予算額

今年度の予算額やこれまでの執行状況を参考とし、各部会100万円の事業費に、事務費等を含めた調査研究費として50万円を追加し、各部会150万円の予算額とする。

予算不足が見込まれる場合は、他の部会と調整を図る。

自治協議会提案事業の予算総額は450万円。

## ＜参考＞ 令和元年度の自治協議会提案事業

	事業概要	当初予算額
第1部会	じゅんさい池自然環境保全事業 ※	130万円
	発災時における地域防災対応力向上事業	77万円
第2部会	東区めぐり子どもバスツアー	16万円
	東区の魅力PR・おもてなし事業	80万円
第3部会	東区の農産物魅力発信事業	74万円
	東区の公共交通の研究	30万円
	東区まちづくり研究会	93万円

※自治協議会委員提案により、区役所企画事業での実施を検討中

## ＜参考＞ 自治協議会提案事業の執行状況

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
予算額	5,000,000円	5,000,000円	5,000,000円	5,000,000円
決算額	4,481,632円	4,083,963円	4,350,686円	4,462,541円
差引	518,368円	916,037円	649,314円	537,459円

※H30年度は決算見込値

## 2019年度 区自治協議会提案事業（概要）

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会の提案をその主体的な取組みのもとに事業化します。

※ 現時点でのものであり、今後変更となる場合があります。

区	事業名	事業概要
北区 500万	生きる力・支えあう力の育み (1,000千円)	①全てのママ・パパ応援プロジェクト 乳幼児の育成環境改善のため、子育てに大事なことをまとめたテキストを作成、配付し、区内全ての乳幼児の保護者が学ぶ機会を設けます。 ②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 新潟医療福祉大学学生がセミナーを開催。健康寿命の延伸へ繋がります。
	潤いの福島潟創出 (1,000千円)	福島潟のラムサール条約登録に向け、周辺環境への理解を深めるために、水辺環境の保全と活用を話し合うワークショップなどを開催します。
	子どもと音楽の出会い創出 (2,000千円)	区内の小学生を対象に、音楽を身近に楽しむ機会を設け、次代を担う子どもたちの感性を育みます。
	北区みんなで見守り隊 (1,000千円)	区内で見守り活動を行っている多数の団体を繋げ、学び、情報交換をする機会を設け、安心安全を築くだけでなく、支え合いの意識の醸成や地域の活性化に結び付けます。
東区 500万	東区まちづくり力・向上プロジェクト (5,000千円)	より良いまちづくりの実現のため、東区民の持っているまちづくりの力を向上させながら、地域課題の解決に向け、下記の事業を実施します。 ①じゅんさい池の自然環境保全 ②発災時の地域防災対応力の向上 ③東区めぐり子どもバスツアー ④東区の魅力PR・おもてなし ⑤農産物の魅力発信 ⑥公共交通の研究 ⑦東区まちづくり研究会
中央区 150万	身近な課題から広げる 協働のまちづくり 調査・検討 (1,500千円)	区自治協議会が、地域で生活する上での身近な課題に対し、モデル事業や調査・検討などを主体的に行い、地域住民と区とが協働で進めるまちづくりに繋がります。 併せて、区が実施する特色ある区づくり事業に対しても、自治協議会がより積極的に関わり、区と連携して取り組んでいきます。
江南区 500万	まちづくりサポートプロジェクト (2,000千円)	江南区をPRできるイベントやコミュニティの活性化、人口減少対策に向けた地域の取組みをサポートすることで、江南区のさらなる魅力発信および地域の課題解決につなげます。
	子ども達の声を活かす地域“未来”プロジェクト (1,500千円)	子ども達からのまちづくりや地域課題に関するアンケート等から、生活環境、教育、生涯学習、文化・スポーツなどの分野を中心に事業を検討し、子ども達が考える地域“未来”を目指します。
	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト (1,500千円)	江南区に住む子どもから高齢者まで、すべての人々が安心して暮らせるように、防犯、防災、交通安全、福祉などを重点に地域での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。

秋葉区 461.6万	課題解決きらめきサポートプロジェクト (1,600千円)	地域の課題解決につながる事業を広く募集し、自治協議会が協働することで取組みが深化するようなサポートプロジェクトを行います。
	・地域と福祉施設をつなぐ防災時のサポート ・大いに笑い、脳を活性化して認知症予防 (1,006千円)	・災害時に協力し合えるよう防災情報を共有し、地域と福祉施設との顔の見える関係づくりを目指します。 ・自分自身で脳と体の健康を保ち、認知症を予防するための講演会を開催します。
	あきは子ども大学 (1,000千円)	次世代を担う子どもたちに、秋葉区の特徴や伝統を継続的に体験してもらい、その様子を記録に残し広く周知することで、地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、未来につながる主体的な学びの機会となるよう実施します。
	コミュニティFMを活用した自治協議会のPR (1,010千円)	区自治協議会の認知度向上のため、秋葉区ならではのコミュニティ放送局「FMにいつ」を活用し、委員自ら番組制作に携わり、広報活動を行うことで、区自治協議会の活動をPRします。
南区 600万	南区公共交通のPR 南区防犯・防災の啓発 (1,000千円)	南区の公共交通機関の利用啓発を図り、利用者数の増加につなげるため、情報紙などの作成や区バスの車内装飾等を行います。また、安心・安全で住みよいまちづくりにつなげるため、防犯・防災に係る啓発活動やグッズの作成等を行います。
	南区「家族ふれ愛月間」 南区出会いの場づくり (1,500千円)	家族の繋がりを大切に、温かい家庭を育むことを目的とした「家族ふれ愛月間」のさらなる定着及び拡充を図るため、映画の上映会や絵画・川柳展を開催します。また、少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住化の促進を目的として、独身の男女を対象に出会いの場づくりイベントを開催します。
	南区の魅力発信 南区スポーツ交流 (1,000千円)	南区の様々な魅力を市内外に発信するとともに、伝統芸能の保存・普及を図ります。また、区民のさらなる交流を目的としたスポーツイベントを開催します。
	南区まちづくり活動のサポート (2,500千円)	区内のコミュニティ協議会など地域活動団体から、地域の課題解決につながる事業を広く募集し、区自治協議会が選定して実施します。
西区 380万	地域課題解決に向けた事業募集 (2,000千円)	「空き家にならないための取組み」「地域の担い手育成等」「支え合いのしくみづくりの輪を広める」「区の魅力発信・賑わい創出」の4つの地域課題の解決に繋がる事業を各種地域活動団体等から募集し、協働して実施します。
	西区アートフェスティバル (1,800千円)	「音楽・芸能」などアートの表現活動に取り組んでいる区内団体等の発表の場として「西区アートフェスティバル」を開催します。区民とプロによる表現を通して、学術・文化豊かな西区の魅力を発信し、地域の宝を共有します。
西蒲区 500万	西蒲区「豊かな心」の育成 (1,500千円)	次代を担う子どもたちの「豊かな心」を育成・形成するため、保護者を対象に社会教育の専門家による講演会を開催し、価値観やライフスタイルの変化、人間関係の多様化・複雑化に伴う教育問題に対応するための方法を学びます。
	西蒲区認知症対策 (1,500千円)	認知症に関する正しい知識を学び、認知症予防への関心を高めるとともに、運動習慣や脳トレ習慣を身に着けることで、健康意識の醸成・認知症予防など、健康寿命の延伸を図ります。
	西蒲区まち歩きガイドの養成 (2,000千円)	まち歩きガイドを養成し、西蒲区のまちの魅力を区内外へPRすることで人を呼び込み、地域の活性化を図ります。